Creative Enzymes®

ウサギ由来のプロテインホスファターゼ-1触媒サブユニット、αアイソフォーム、再組換え

Cat. No. NATE-0614

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	セリン/スレオニン-タンパク質ホスファターゼ PP1-アルファ触媒サブユニットは、ヒトではPPP1CA遺伝子によってコードされる酵素です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質ホスファターゼ1（PP1）の三つの触媒サブユニットの一つです。PP1は、細胞分裂、グリコーゲン代謝、筋肉収縮、タンパク質合成、HIV-1ウイルス転写など、さまざまな細胞プロセスの調節に関与していることが知られているセリン/スレオニン特異的タンパク質ホスファターゼです。心不全の末期にはPP1活性の□加が□察されています。ヒトとマウスの両方の研究は、PP1が心機能の重要な調節因子であることを示唆しています。マウスの研究はまた、PP1が学習と記憶の抑制因子として機能することを示唆しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする三つの選□的スプライシング転写バリアントが見つかっています。
別名	PPP1CA; プロテインホスファターゼ1; PP-1A; PP1A; PP1アルファ; PPP1A

製品情報

種	ウサギ
由来	E. coli
形態	凍結乾燥粉末
分子量	mol wt 37.5 kDa
活性	5,000-15,000 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	イミダゾールバッファー（pH 7.4）、NaCl、DTT、EDTA、MnCl2、Tween 20、および安定剤としてのトレハロースを含む凍結乾燥粉末。
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分あたり1 nmoleのp-ニトロフェニルリン酸を加水分解します。

使用法とパッケージング

包装	パッケージサイズはタンパク質含有量に基づいています。

保管・発送情報

安定性	−20°C